

IBにおける評価

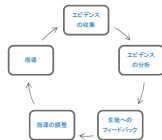


	0	1	2
正確さ(より本物に似ている)	不明	イラスト的	写真的
線の本数	多すぎ	やや多い	少ない
大きさ	紙の半分未満しか使っていない	紙の半分以上使っている	紙の7割以上使っている

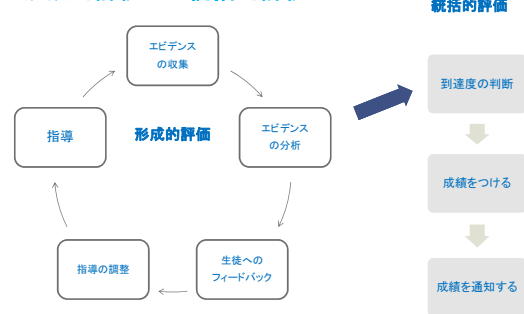
形成的評価から統括的評価へ

重要なことは、個々の総括的評価プロセスを開始する時に、その課題について何が生徒に期待されているかを明確にして、求められていることを生徒が完全に理解できるようにすることです。

IB評価に対する期待について説明する際は、教師は、規定の評価規準を改定したり、単元で取り扱われる目標を超越した目標を導入しないようにしなければなりません。



形成的評価から統括的評価へ



形成的評価から統括的評価へ

- 効果的な**形成的評価**は教師と生徒に対して、個人の学習スタイルを掘り下げただけではなく、学習の差別化の参考になる個々の生徒の長所や課題、選択を探る方法を示してくれます。
- 形成的評価**は生徒にとって、総括的評価課題を完成させるために準備する中で、理解の表現を示しそれに磨きかける重要な機会でもあります。
- 生徒同士の評価と自己評価も**形成的評価**の有効な方法です。

学びを育むファシリテーターとしての教師

- 学びのプロセスに焦点を合わせる**
生徒の焦点を学びのプロセスに向ける課題と指導法を優先的に扱う
- 概念的な理解を現実世界の状況とつなげる**
生徒を、なぜ？、いつ？、どのようにしたら分かるのか？ どの状況だと当てはまるのか？ といった、主軸となる質問形式の問いに参加させる。

教育的対話

- 教員による制御
- “正しい”答えへの導き
- 正しい答えが評価される
- クローズド・クエスチョン
- 教員が生徒よりも“話す時間”が多い
- 限られた参加
- 既知の結果に注目する
- 教員が真実を握っている

対話的教育

- 教員と生徒による共有制御
- 可能性を探ることへの導き
- “間違った”答えや挑戦することが評価される。
- オープン・クエスチョン
- 生徒は教員より“話す時間”が多い
- 包括的参加
- 予測不可能
- 真実は共有成果

形成的評価に基づいた授業づくり

学習するテーマ：

弥生時代以降、それまでに見られなかった大規模な争い(戦争)による死傷者と考えられる人骨が多数出土する。その原因はなんだろうか？

わかってほしいこと：

- ・縄文時代の主たる食料獲得方法が狩猟・採取であること
- ・縄文時代と弥生時代の文化の違い
- ・渡来人が大規模な水田稲作文化を持ち込んだこと
- ・渡来人と在来人との混血が弥生人であること

考察してほしいこと：

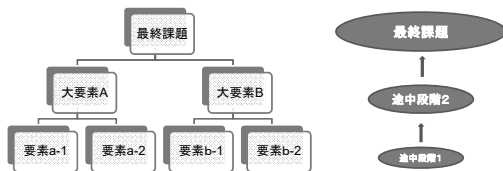
- ・なぜ弥生時代から戦争が起きるのか

	0	1	2
文化比較	言及できていない	縄文と弥生の文化の比較に2~3の側面から言及できる	縄文と弥生の文化の比較について多くの側面から言及できている
食料生産と人口増加	言及できていない	食料生産と人口増加について個別／一方のみ述べられている	食料生産と人口増加の関係について関連させて述べられている
主張の方法	思いつきのように脈絡がない	主張はできているが説明的であって考察されていない	主張は考察的で独自の解釈や視点を含む

「狩猟・採集や農耕の生活」について調べるとは、例えば、貝塚や集落跡などの遺跡、土器などの遺物を取り上げて調べ、日本列島では長い期間、豊かな自然の中で狩猟や採集の生活が営まれていたことが分かるようにするとともに、水田跡の遺跡や農具などの遺物を取り上げて調べ、農耕が始まったころの人々の生活や社会の様子が見えるようにすることである。

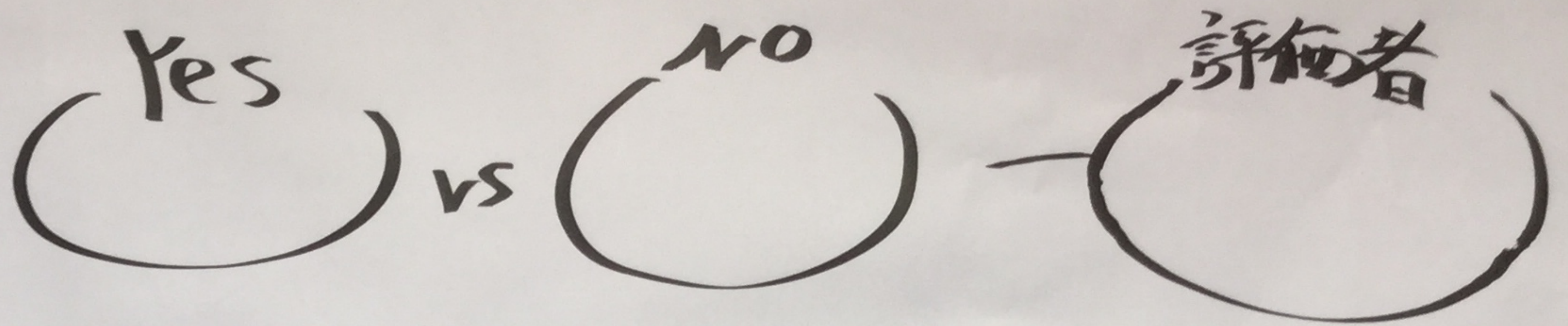
文部科学省 小学校学習指導要領 解説 より抜粋

コメントのみ、点数のみ、コメントと点数の3種—コメントのみが最も効果的
 ・「学習のための評価」フレッド・リックを改善し結びつける。①子どもの現在の到達点を示されるだけでなく②それが目標とどれくらい、異なるのかが数値・質的に示され③その差を埋めるためにどのような行動が必要なのかを示す。つまり、今いる地点、目標までの距離、到達の方法次に必要となる学習活動が具体的に示されること
 ・「学習としての評価」自分の学習をモニタリングし改善する能力の育成。①自己評価は無理なので2子どもたち自身による相互評価を依頼し対話することで評価基準を共有し改善のための方法を対話的に考える



1限 デバートの形式理解

「制服は着るべき？着ないべき？」



2限 デバートの目的理解

動画を観ること、
{ 他者理解
 自己の知識の広がり }

3限 論理的にならないデバート

「赤と青どちらが好きか？」

振廻りをSSが行い、何が問題だったかを話し合わせる。

4限 どうしたら「赤と青どちらが好きか？」のデバートが論理的になるか。

5限 評価をSSに作成させる。

⇒ デバートの何が大切か理解させる。

6限 デバートを再度同じテーマで行う。

「制服は着るべきか？着ないべきか？」

< 課題の時間 >

1. 1. 1. 1. 1.
2. 2. 2. 2. 2.
3. 3. 3. 3. 3.
4. 4. 4. 4. 4.

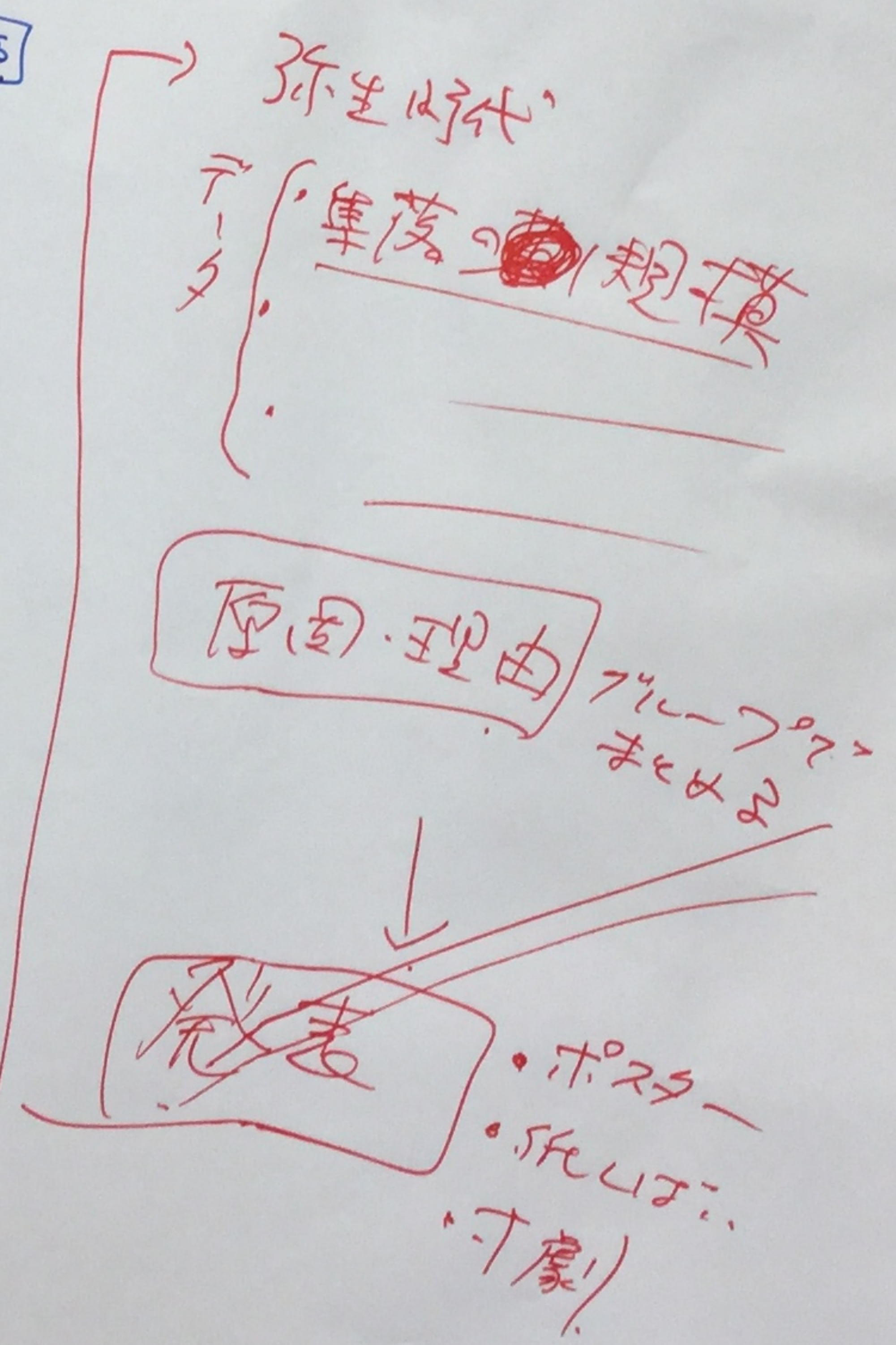
- 16-7-16?
1. 1. 1. 1. 1. 評価
 - 3
 - 4 発表 16-7-16? 評価
 5. ティスカッション 評価
 - 6
 - 7 発表準備
 - 8 発表、振り返り 評価
- 見直し
1日の生活がわかる。

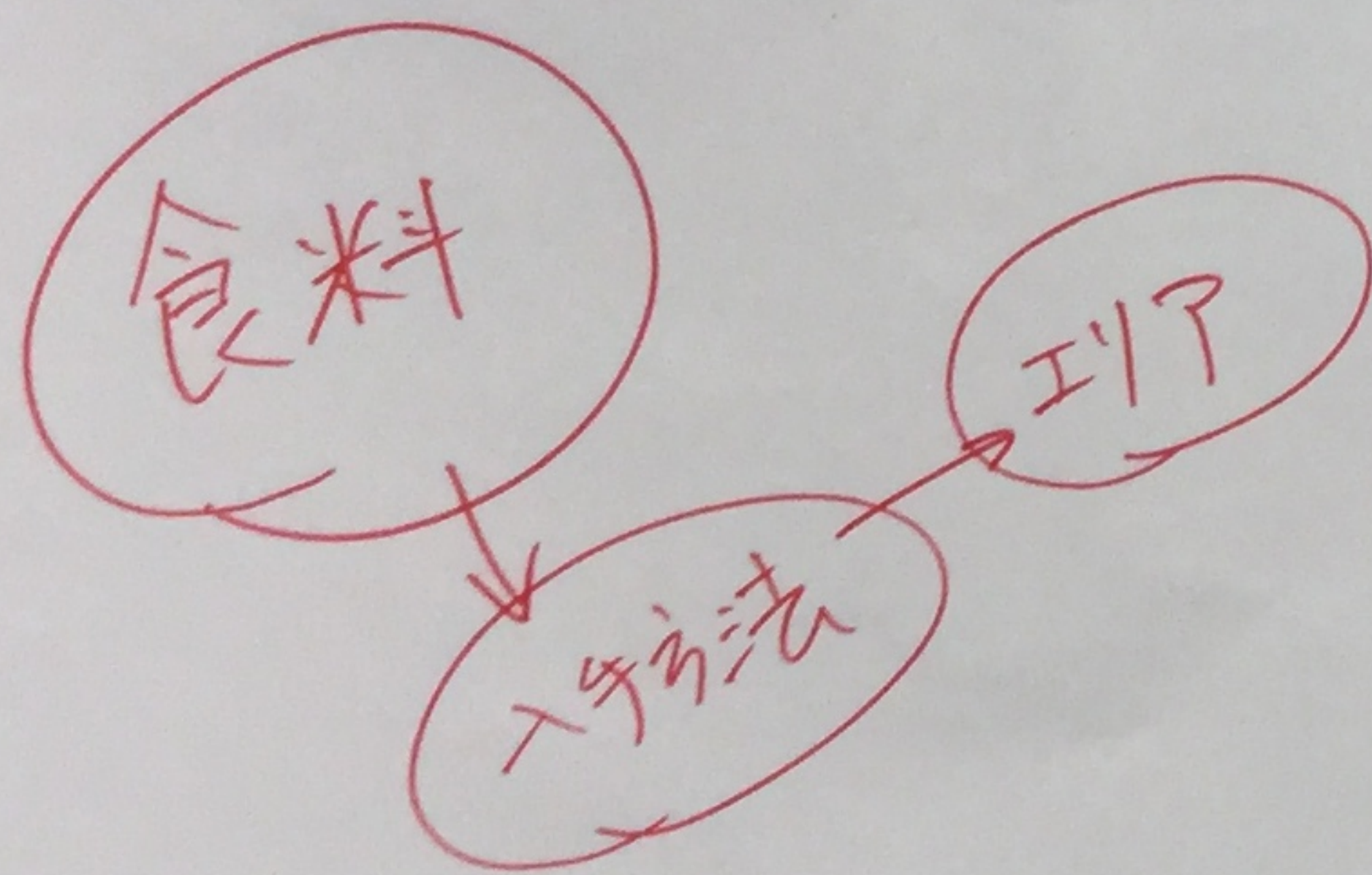
縄文時代 & 弥生時代

比較できる資料から

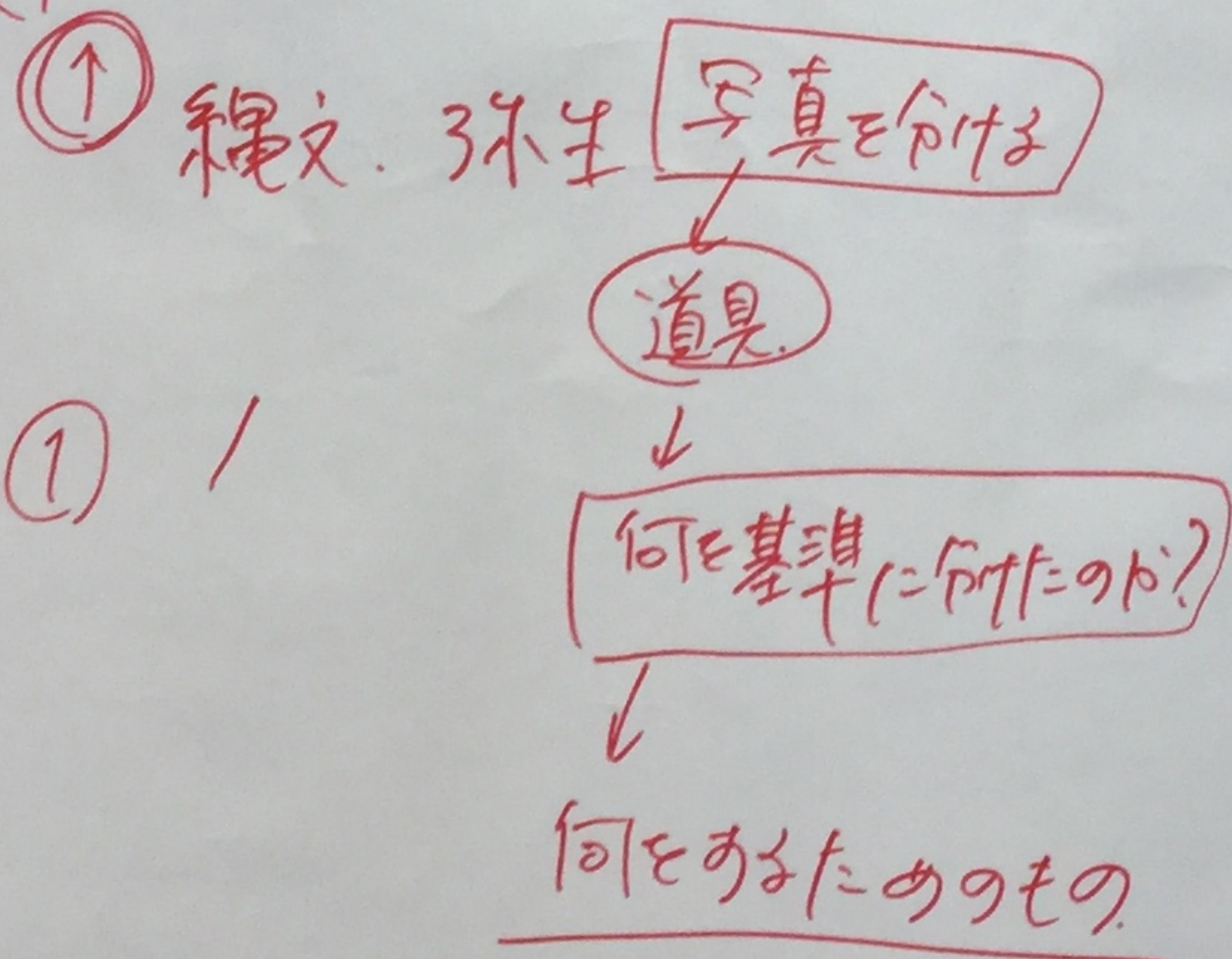
↓
1日の暮らしを反映している

↓
違いをティスカッション





文化



道具の字を見ても
自由に27の字に分類
台の下根拠を区別

道具の種類

